

第1 事業の状況（※通年クラスは2012年4月末日現在の在籍計画数）

<基本方針>

熊本YMCAの事業は、「ウェルネス事業」、「子育て支援事業」、「国際理解・国際教育事業」という3つ事業領域を中心に構成されており、次の5つを学ぶことを目的とする。

- I 自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること
一人ひとり自分がかげがえのない存在であることに気づき、お互いのいのちを大切に、生きる力を身につける。
- II 家族、地域のひとりとして責任があること
人と人とのつながり、地域と人とのつながりを通して、一人ひとりが共に仕え合う責任があることを学ぶ。
- III 世界と地球を見つめ、考え、行動すること
お互いの違いを認め合って、一つの地球に生きるすべての人のいのちと平和、そして私たちが生かされている自然を守るために行動することを学ぶ。
- IV ボランティア精神とリーダーシップを身につけること
お互いに助け合い、支え合う心を育み、人々が生き生きと暮らす地域を守り育てる働きかけが、進んでできる生き方を学ぶ。
- V すこやかな心とからだを育むこと
いろいろな人との交わりと活動を体験することにより、すこやかな心とからだを育み、いつも喜びと希望を持ち、充実した人生を送ることを目指す。

A. 公益目的事業

1. 教育、スポーツ、自然体験などを通して人々の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

(1) 自然体験活動

【強調点】

- ① 自然生活を楽しみ、自然に適応する能力を身につける
- ② 良い習慣を育て実践する
- ③ 健康のための知識を得て、自分の身体を守る方法を知る
- ④ 生活を豊かにする技術を学び、創造力を育む
- ⑤ 良き友人を作る方法を学び、互いの存在と生命を尊重する心を育む
- ⑥ 民主的なグループ経験から、社会に関わる責任感を育む
- ⑦ 神の恵みを知り、感謝の気持ちを養う

【具体的計画】

① 通年野外クラス

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
インディアンズクラブ	10	8	15	8	41
サタデーインディアンズクラブ	5	25	5	10	45
計	15	33	20	18	86

② 季節野外活動

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
土日キャンプ	15	35	15	—	65
夏期キャンプ	125	105	105	90	425
冬期キャンプ	55	80	15	50	200
春期キャンプ	20	—	—	15	35
計	215	220	135	155	725

③ 障がい児支援キャンプ

<全体>

- ・ポニーキャンプ（熊本盲学校との共催） 7月25日～27日実施予定
- ・コスモスキャンプ（日本自閉症協会熊本県支部との共催）
8月3日～5日実施予定

(2) リーダーシップ養成活動

【強調点】

- ① ボランティアとして活動する機会を通して、共に支え合う社会づくりを目指す。
- ② グループワークの手法を活用しながら、各々相互に成長の機会を創造していく。

【具体的計画】

<YMCA全体>

- ① 熊本YMCAキャンプリーダートレーニング開催（90名）
- ② 全国YMCAリーダー研修会開催（80名）

(3) 子どもスポーツ活動

【強調点】

- ① フィットネスを向上させます。
- ② 新しい技術を習得します。
- ③ 創意工夫の涵養と気力を充実させます。
- ④ 安全思想の理解と安全技能を修得します。
- ⑤ 人と人との交わりを大切にします。
- ⑥ 「思いやり」、「誠実さ」、「尊敬心」、「責任感」をすべての場面で大切にします。

【具体的計画】

① 通年クラス

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
体育英語幼稚園	20	—	20	20	60
体操	190	280	210	240	920
新体操	40	45	60	65	210
サッカー	115	140	80	270	605
水泳	—	1175	1040	930	3145
HIP-HOP	15	10	—	85	110
計	380	1650	1410	1610	5050

② 講習会

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
春期	100	145	215	180	640
夏期	150	455	210	410	1225
冬期	100	165	245	195	705
計	350	765	670	785	2570

(4) 地域支援活動

【強調点】

- ① 熊本市内・熊本市近郊の小学生、保育・幼稚園児、YMCA水泳クラス生への「ウォーターセーフティハンドブック」の無償配布
- ② 諸団体への水上安全講習会アピール
- ③ 大人、保護者対象の水上安全講習&救急法の実施
- ④ YMCA水泳教室生への「水上安全講習・着衣泳体験」実施

【具体的計画】

①水の安全キャンペーン

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	阿蘇	計
水の安全ハンドブック 配布部数	1 2 0 0	2 6 0 0	2 1 0 0	2 9 0 0	5 0 0	9 3 0 0
配布先：小学校	1 8 校	4 3 校	1 9 校	3 9 校	1 1 校	1 3 0 校
幼稚園	—	1 園	1 園	2 園	—	4 園
保育園	—	1 園	2 園	1 園	4 園	8 園
着衣水泳指導先	小学校、幼稚園、保育園からの依頼により実施					

②指導者派遣（熊本市内及び周辺地域）

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	阿蘇
体操指導	小学校、幼稚園、保育園、行政からの依頼により実施				
レクリエーション指導	小学校、幼稚園、保育園、行政からの依頼により実施				
水泳指導	小学校、幼稚園、保育園、行政からの依頼により実施				
キャンプ指導	小学校、幼稚園、保育園、行政からの依頼により実施				
運動指導	近隣医療機関、自治会からの依頼により実施				

2. 子ども英語、アフタースクール（学童保育）、発達障がい支援、幼児教育など児童及び青少年の健全な育成を目的とする事業

(1) 子ども英語教育活動

【強調点】

- ① キャラクターディベロップメントを取り入れたレッスンを通しての人格形成
- ② グループワークによる基礎的なコミュニケーション能力の育成
- ③ アルファベットと基礎的フォニックスを中心とした英語力の習得
- ④ 挨拶、クラスルームイングリッシュ、基本単語の習得

【具体的計画】

プログラム名	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
Zooクラブ	2 0	1 5	1 5	1 5	2 0	8 5
キッズクラス	5	1 5	—	1 5	5	4 0
ジュニアクラス	5	2 0	—	1 0 5	2 5	1 5 5
経験者クラス	2 0	1 6 5	—	—	1 1 0	2 9 5
中学生クラス	5	1 5	—	1 0	—	3 0
計	5 5	2 3 0	1 5	1 4 5	1 6 0	6 0 5

(2) アフタースクール（学童保育）

【強調点】

- ① 学校後の子どもたちの安全で教育的な居場所作りを行う。
- ② 地域のもうひとつの学校、もうひとつの家庭として子どもたちの健やかな成長の場を提供する。
- ③ 学校の学童保育後の預かりも行い、共働き家庭の支援を行う。
- ④ 「思いやり」、「誠実さ」、「尊敬心」、「責任感」をすべての場面で大切にする。

【具体的計画】

プログラム名	みなみ	ながみね	むさし	計
アフタースクール	2 0	5	2 0	4 5
児童絵画	5	—	—	5
作文教室	5	—	—	5
計	3 0	5	2 0	5 5

(3) 発達障がい支援活動

【強調点】

- ① ライフステージに応じた、発達障がいのあるメンバーへの支援活動
- ② 青年期の発達障がい者支援（A型事業所、若者サポステへの協力）
- ③ 地域Y、事業部ごとの発達障がい理解研修計画実施に協力
- ④ 中央Yでの新規フロアプログラムの開始

【具体的計画】

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	計
通年クラス	30	20	20	70
講習会	10	—	—	10
計	40	20	20	80

(4) 幼児保育活動（ぶどうの木幼児園）

【強調点】

- ① 健康で安全な生活習慣を身につけます。
- ② 遊びを通して積極的、自発的行動を促します。
- ③ 物事への正しい理解と興味関心を促します。
- ④ 体育、言語、音楽、造形活動を通して創造力を育みます。

【具体的計画】

<みなみYMCA>

ぶどうの木乳児園	2歳児	3歳児	4歳児	5歳	計
人数	4	5	4	2	15

3. 勤労者の余暇生活や健康増進などの勤労者の福祉の向上を目的とする事業

(1) 成人スポーツ活動

【強調点】

- ① 運動の楽しさ、習慣を身につける。
- ② 日常生活に必要な体力・筋力の維持、増進を図る。
- ③ 生活習慣病を予防する。
- ④ 医療機関と連携し、メディカルチェックを積極的に展開する。

【具体的計画】

プログラム名	みなみ	ながみね	むさし	計
アクア	○	○	○	
ジム	○	—	○	
フィットネス	○	○	○	
人数計	970	220	760	1950

4. 高齢者の健康増進・健康啓発、生きがい活動支援など高齢者の福祉の増進を目的とする事業

(1) 高齢者スポーツ活動

【強調点】

- ① 高齢者の心身機能、および生活機能の低下を予防する。
- ② 要介護状態にならない、悪化させない介護予防プログラムを実施する。
- ③ 下肢筋力を中心に機能維持、改善するプログラムを実施する。
- ④ 医療機関と連携し、メディカルチェックを積極的に展開する。

【具体的計画】

プログラム名	みなみ	ながみね	むさし	計
メディカルコース	10	20	20	50

5. 国際交流、国際親善などを通して国際相互理解の推進やコミュニケーション能力の育成を目的とする事業

(1) 国際交流活動

【強調点】

- ① 国際プログラムに参加する機会を幅広い世代に広く提供することで、アジアの課題や多文化共生について考え、学ぶ機会を参加者は得ることができる。
- ② 青少年、ユース・リーダー、学Yのメンバーに国際的な活動に参加する機会を多く提供し、体験を広く伝えていただく機会を設け、保護者、YMCA会員が、グローバルな視点を持つようになる。
- ③ 1Y1アジア運動、タイ里親運動、国際協力青少年育成年末募金など熊本YMCA独自で行っている国際協力活動を広く伝えることで、熊本の地で様々な方々がアジアを身近なものとして捉えることができる。

【具体的計画】

① 海外派遣

<YMCA全体>

- ・タイワークキャンプ 8月22日～29日(予定) 10名
- ・アジアスタディツアー 2月22日～26日(予定) 5名

<みなみYMCA>

- ・ミャンマー・モガウンYMCA訪問 5月10日～15日(予定) 5名

<上通YMCA>

- ・カンボジア孤児院訪問 8月(予定) 3名

<ながみねファミリーYMCA>

- ・タイスタディツアー (計画中)

<むさしYMCA>

- ・カンボジアYMCA訪問 2月18日～23日(予定) 3名

② 海外受入

<阿蘇YMCA>

- ・ICCPJ(インターナショナル・キャンプカウンセラー・プログラム)の海外キャンプカウンセラー(台湾)受入れ(8月:1ヵ月) 1名

③ 国内交流

<YMCA全体>

- ・広島ピースセミナー 8月4日～6日(予定) 10名
- ・PHD協会研修生との交流 1月15日(予定) 10名

(2) 成人語学教育活動

【強調点】

- ① ボーダレス社会で役立つ、実用的な語学力を養成します。
- ② 多様性と違いを受け入れることを大切にした教育を行います。
- ③ 世界の人々との対話を深め、共に生きることを目指します。

【具体的計画】

プログラム名	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
英会話クラス	50	175	20	50	295
目的別クラス	—	10	15	—	25
世界のことば	—	60	—	—	60
計	50	245	35	50	380

(3) 日本語教育活動

【強調点】

- ① 外国人のためのクラスルームコミュニティ形成の場と機会の提供
- ② 実用的な語学力の養成(生活、日本語検定対策)
- ③ ボランティアを通して日本人会員との交流を促進する

【具体的計画】

プログラム名	上通
生活日本語クラス	12
短期留学生クラス	7
日本語教師養成クラス	8
計	27

6. 地域奉仕活動など地域社会の健全な発展を目的とする事業

(1) 地域奉仕活動

【強調点】

- ① YMC Aに集う参加者同士が様々な世代を越えて、YMC A運動が活性化し、コミュニティを形成していくことで住民自治による活力在る街づくりに寄与する。
- ② 参加者同士の人間関係を結びつける役割を通して、防災を含め安心して、楽しく活動できる居場所の提供へと繋げていく。
- ③ 出会いと感動を通して、参加者がYMC Aの使命やCDなどの価値を体感し、生きる活力を得ることに繋げていく。

【具体的計画】

①地域育成活動

ア：講演会

<みなみYMC A>

- ・健康講演会・セミナー (年2回)

<ながみねファミリーYMC A>

- ・子育て講演会 (5月、11月)
- ・防災を考える日 (2月)

<むさしYMC A>

- ・ウェルネス健康セミナー (年2回)

イ：研修会

<みなみYMC A>

- ・聖書を学ぶ会 (年10回)

<上通YMC A>

- ・聖書を学ぶ会 (年12回)
- ・朗読の夕べ (4月)
- ・中小企業就活塾 (6月予定)

<ながみねファミリーYMC A>

- ・環境教育 (4月)
- ・ピースセミナー (11月)
- ・聖書学びの会 (7月、9月、11月、1月、3月)
- ・ながみねファミリーYMC A地域の働きを考える会 (7月)

<むさしYMC A>

- ・聖書を学ぶ会 (年3回)

②地域清掃活動

<中央YMCA>

- ・新町地域清掃（実施予定）

<みなみYMCA>

- ・浜線バイパス美化活動（年6回実施予定）

5/17、7/19、9/20、11/15、1/17、3/21

- ・江津湖清掃（4月22日実施予定）

<上通YMCA>

- ・上通周辺清掃・落書き消し（4月21日実施予定）

<ながみねファミリーYMCA>

- ・国体道路ロードクリーンボランティア

4月、6月、9月、11月、2月（年5回実施予定）

<阿蘇YMCA>

- ・車帰地区水路清掃（4月）

- ・車帰地区プール清掃（7月・8月の毎日曜日）

<全体>

- ・花岡山山頂清掃（1月19日実施予定）

③地域協力活動

<中央YMCA>

- ・新町地蔵まつり（7月22日実施予定）

- ・一新校区ふれあいの集い（3月15日実施予定）

<みなみYMCA>

- ・田迎校区いきいきネットワーク会議

<上通YMCA>

- ・サムライ祭り（3月予定）

- ・ゆかた祭り（7月予定）

- ・並木坂商店街恵比寿祭り（10月予定）

- ・違法駐輪・自転車乗入れ指導協力（年間2～3回）

- ・上通アーケード防犯パトロール（毎月第1金曜日）

- ・熊本県子育て応援団協賛（ベビーベッド、多目的トイレ）

- ・熊本市観光案内協力（外国語での対応、パンフレット設置、電子看板）

- ・上通商栄会加盟店舗対象外国語教室開催（通年）

<ながみねファミリーYMCA>

- ・ライン工房としま祭り（8月）

<むさしYMCA>

- ・永江団地まつり

<阿蘇YMCA>

- ・阿蘇夏祭り（8月）

- ・車帰地区感謝会（8月）

- ・阿蘇キャンプ60周年記念式典（9月）

- ・阿蘇キャンプ60周年記念事業（年間）

④施設開放活動

<みなみYMCA>

- ・母の日プール無料開放（5月13日）

- ・父の日プール無料開放（6月17日）

<上通YMCA>

- ・ 1階ロビーの市民開放（公共無線LAN、公共インターネットPC設置）
- ・ コムスタカ（外国人支援NGO）への施設の無償提供
- ・ 熊本県立大学マーケティング研究会への施設提供

<ながみねファミリーYMCA>

- ・ 母の日プール無料開放（5月）
- ・ 父の日プール無料開放（6月）
- ・ スペシャルオリピックス水泳（5月、6月、9月、10月、11月）

<むさしYMCA>

- ・ 母の日プール無料開放（5月）
- ・ 父の日プール無料開放（6月）

④献血への協力

<中央YMCA>

- ・ 5月、10月を予定

7. 森林の保全などを通して地球環境の保全又は自然環境の保護を目的とする事業

(1) 自然環境の保全活動

【強調点】

- ① 阿蘇キャンプ60周年記念事業を通して年間を通した自然環境保全活動を実施する。
- ② 未来を担う青少年の森づくりを推進するために、熊本県森林整備課みどり推進班との協働事業を実施する。
- ③ ウェルネス事業部(野外)でのシーズンキャンプで環境教育キャンプを実施する。

【具体的計画】

<YMCA全体>

- ・ 阿蘇市端辺及び同町鹿解河原における植林事業（4月22日森林探検隊を実施予定）
- ・ アメリカ・フロストバレーYMCA環境教育プログラム体験ツアー（10月実施）
- ・ 的石キャンプ場での環境教育プログラム実施(年間活動)
- ・ 熊本県青年森林協力隊活動推進事業の実施
- ・ 阿蘇キャンプで「YMCAエコキャンプ」（8月実施予定）
- ・ 九州キャンプミーティング（環境教育実践発表を含む）（2月23日～24日実施）

B. 収益事業

1. 宿泊施設の提供を目的とする事業

(1) 阿蘇YMCA及びリフレスおおむたにおいて実施

年間利用者数	阿蘇	リフレス	計
研修棟・キャビン	4 3 4 5	2 1 0 0	6 4 4 5
キャンプサイト	—	1 0 0 0	1 0 0 0
計	4 3 4 5	3 1 0 0	7 4 4 5

2. 飲食物の提供を目的とする事業

(1) 阿蘇YMCAにおいて実施

年間提供者数	阿蘇
飲食物提供	4 1 1 5

3. 不動産の賃貸を目的とする事業

(1) 中央YMCA及び阿蘇YMCAの土地の一部を学校法人熊本YMCA学園に貸与

中 央	熊本市中央区新町1-3-8の土地のうち、461㎡を貸与
阿 蘇	阿蘇市車帰の土地のうち、1919.8㎡を貸与

4. この法人の事業に密接に関わる指定管理施設受託事業

(1) 福岡県大牟田市所有の多目的活動施設「リフレスおおむた」の管理運営

①主催事業

・なんでもやる隊（野外活動クラブ）	40名（月例）
・がまだす隊（野外活動クラブ）	36名（月例）
・ほたる観察会	40名（5月）
・星空観察会	90名（8月・2月）
・野外活動指導者講習会	15名（6月）
・ヨガ・健康体操教室	12名（毎週）
・バドミントン大会	25組（5月・11月）
・クライミング指導者講習会	15名（1月から全8回）
・野草を食べよう	100名（4月）
・地産地消料理教室	10名（5月・11月）
・親子クッキング教室	10名（1月）
・アウトドアクッキング教室	10名（2月、3月）
・親子陶芸教室	36名（5月・6月・8月）
・成人陶芸教室	16名（9月、10月、11月）
・山野草盆栽教室	16名（4月、5月、6月、7月）
・着物着付教室	20名（6月、7月）
・女性教養講座教室	15名（6月・9月）

②施設利用（主催事業以外）

・キャンプ場	5600名（年間）
・和室	8350名（年間）
・体育館	19100名（年間）
・クライミングウォール	1550名（年間）
・料理室	6700名（年間）
・研修室	8800名（年間）
・音楽室	900名（年間）
・創作室	2200名（年間）
・交流室	200名（年間）

以 上